

神小だより

第9号



特色ある取組等(神領小学校HP)

子供の夢や志を応援する大人であるため

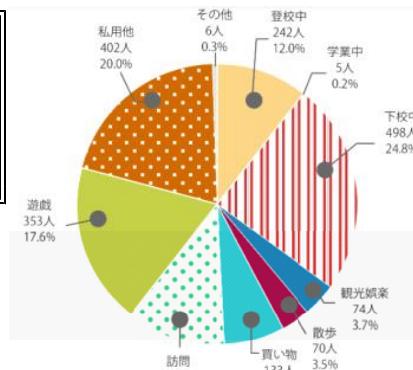
本校の学校教育目標は『夢と志にあふれ 心豊かにたくましく生きる子供を育てる』です。神領小学校が、子供たちが夢を耕し、なりたい自分になるために必要な力を培う場所となるように、保護者の皆様や地域の方々から、愛情たっぷりのご支援をいただきながら、神領小学校ならではの教育課程を実践しているところです。4月より今年度がスタートして、12月11日の今日が256日目。子供たちは大きな事故をすることなく、日々成長をしながら安全に過ごすことができています。これも日頃より、子供の安心・安全を見守りご協力をいただいている方々のお力添えの賜物と感謝申しあげます。

子供たちが、より一層安全で安心して学校生活が送れるように、安全を視点に「子供の夢と志を応援できる大人」するために、次のことについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

交通事故防止編 「交通事故から子供を守るために」大人ができること

交通事故から大切な命を守るために、運転するかたも、歩行者のかたも、思いやりの気持ちをもって、子供たちの安全な歩行のサポートをお願いします。

事故が多い時間帯は、「午前7時台」「午後2時台から午後5時台」が多く、最多は午後3時台で、下校や遊びのために外出した際に事故が多いようです。最も多いのは「下校中」です。



車等を運転する人は

路上で子供を見かけたときは、子供たちも気を付けますが、車等を運転する大人が速度を落としたり、子供から間隔をあけたり、一時停止したりするなどの配慮をお願いいたします。

子供が道路を横断しようとしているときは、**安全に横断できるよう一時停止し、渡り切るのを確認してからゆっくり発進をお願いします。**

通学路や住宅街では、子供が急に倒れてくるなどの予期しないこともありますので、**速度を落としての通行をお願いします。**

信号のある交差点でも、子供を見かけたら**飛び出してこないか確認してからの発進をお願いします。**

4日前の12月7日午後6時10分ごろ、埼玉県で市道を歩いていた小学6年女子児童が何らかの理由で突然倒れ、その後に走行中の乗用車にはねられるという事故が発生しました。その女児は病院に搬送されましたが亡くなりました。

私たち大人にできること

子供に交通事故防止を教えるためには、まず、大人がふだんからお手本を示すことが大切です。子供が見ているところで、信号を無視したり、横断歩道がすぐ近くにあるのに、違うところを横断したりしていると、そのことが当たり前の交通ルールとなって、子供は大人の真似をします。子供が交通ルールを守って、安全に道路を歩けるようにするために、今一度**手本となる大人が交通ルールを再確認し、交通ルールの遵守をお願いします。**

また、子供たちがきちんと信号を守ったり、横断歩道を渡ったりするなど、交通ルールを守っていても、交差点で自動車が無理やり進入してきたり、右折や左折をしたりする際に、車等を運転する人が横断中の子供に気付かず、事故に至ってしまうケースも少なくないようです。車等を運転する大人が、**横断歩道手前における減速と横断歩道における歩行者優先の徹底**をお願いします。

(警察庁、内閣府政府広報室資料参考)